

平成22年10月26日『第2回県政ランチミーティング』における主な発言要旨及び県の考え方について

参加団体・参加者	発 言 要 旨		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
	参加者の発言	知事の発言		
名君「保科正之公」の大河ドラマをつくる会 幹事会  伊東 義人様 他9名 (伊那市)	1 「大河ドラマの実現と地域の活性化」について  私たちは平成20年2月に全国組織を立ち上げ、多くの人に「保科正之公」を知ってもらうために署名活動を重点的に進めてきたが、現在41万人を超える署名を集めたので、是非知事にも署名をお願いしたい。	これから大いにやるんでお願いしたい。	(既に知事署名済み)	観光部 観光企画課
	今長野県内では3件(保科正之、木曾義仲、真田幸村)、大河ドラマ化を要望する話がある。3件もあることは非常にすごいことで、これが全部取りあげてもらえれば長野県の活性化になるが、保科正之に関しては、福島県の動きが弱いので、今度NHKにお願いに行くときには、是非福島県知事にも呼び掛けてもらって一緒に行ってほしい。	皆さんと一緒にNHKに働きかけるなど積極的にやっていきたい。	・平成22年12月22日に福島県知事とNHK本社に要望をしました。 ・木曾義仲については、平成23年2月9日にNHK本社に要望をしました。 ・真田幸村については、平成23年度にNHK本社に要望を予定しております。	
	高遠には林業関係者を含め多くの著名人が世の中に出ているが、最近山に関する教育を長野県の子供たちにやっていない。こういうものを復活させ、自然を教育に還元させることも必要ではないか。	教育を考える部局を知事部局にも作りたいと考えている。	・平成23年4月に「次世代サポート課」を設置し、社会生活において、困難に直面している子ども・若者等を総合的に支援していきます。	企画部 生活文化課 (H23次世代サポート課)
		長野県の子供たちが農林業に親しんでいるかという点必ずしもそうでないと思っている。恵まれた環境を生かした取り組みをしていけばいいのではと思っている。	・環境教育において「緑の少年団」活動、森林の育成、学校林の活用に係る活動に取り組んでいる学校は小学校168校、中学校53校であり、今後も各事務所の林務課、小中学校の連携により活動の充実を図ります。	教育委員会 教学指導課
	観光客は諏訪辺りまでは大勢来るが、そこから南へはなかなか来ないが、山を一つ越えたところが高遠なので、大河ドラマが放送されると一つの起爆剤になり、地域の活性化につながる。是非知事の力添えをいただきたい。	高遠は小彼岸桜だけでなく、いろいろ歴史、文化があるということを知ってもらう機会を持ちたい。 たまたま水戸黄門を見ていたら上田を舞台とした話が放送されていた。もう少し長野県自体を積極的に情報発信していかなければいけないと思う。	・「未知を歩こう。信州2011」観光キャンペーンや県内周遊促進事業を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	観光部 観光振興課